

# 委託者証拠金一覧

平成23年1月1日現在

商 品 名	限 月	倍 率	サーキット ブレーカー 設定幅	取引証拠金維持額（1枚あたり）			委託者証拠金 （1枚あたり）
				プライス・ スキャンレンジ （PSR）	納会月割増額	合 計	
東京金	1102	1,000	100	81,000		81,000	81,000
	1104 ~ 1112			81,000		81,000	
東京金ミニ	1102 ~ 1112	100	100	8,100		8,100	8,100
東京銀	1102	10,000	2.5	40,000		40,000	40,000
	1104 ~ 1112			40,000		40,000	
東京白金	1102	500	200	69,000		69,000	69,000
	1104 ~ 1112			69,000		69,000	
東京白金ミニ	1102 ~ 1112	100	200	13,800		13,800	13,800
東京パラジウム	1102	500	80	67,000		67,000	67,000
	1104 ~ 1112			67,000		67,000	
東京原油	1101 ~ 1106	50	2,400	78,000		78,000	78,000
東京ガソリン	1101	50	2,400	81,000		81,000	81,000
	1102 ~ 1106			81,000		81,000	
東京灯油	1101	50	2,400	76,000		76,000	76,000
	1102 ~ 1106			76,000		76,000	
東京軽油	1101	50	2,400	75,000		75,000	75,000
	1102 ~ 1106			75,000		75,000	
中京石油ガソリン	1102 ~ 1106	10	2,400	18,000		18,000	18,000
中京石油灯油	1102 ~ 1106	10	2,400	15,000		15,000	15,000
東京ゴム	1101	5,000	10.0	70,000		70,000	70,000
	1102 ~ 1106			70,000		70,000	
商品指数		5,000	15.0	30,000		30,000	30,000
東京粗糖	1103	10	2,400	27,000	9,000	36,000	36,000
	1105 ~ 1201			27,000		27,000	
東京小豆	1101	80	350	28,000		28,000	28,000
	1102 ~ 1106			28,000		28,000	
東京一般大豆	1102	10	2,000	14,000		14,000	14,000
	1104 ~ 1112			14,000		14,000	
東京NON-GMO大豆	1102	10	2,000	15,000	4,000	19,000	19,000
	1104 ~ 1112			15,000		15,000	
東京とうもろこし	1103	50	1,000	41,000		41,000	41,000
	1105 ~ 1201			41,000		41,000	
アラビカコーヒー	1101	50	1,200	47,000	13,000	60,000	60,000
	1103 ~ 1111			47,000		47,000	
ロブスタコーヒー	1101	50	1,200	40,000		40,000	40,000
	1103 ~ 1111			40,000		40,000	

## <当社の証拠金制度について>

- ① お客様が保有する建玉全体を維持するために必要な証拠金の金額として当社が定める金額を「委託者証拠金」といいます。「委託者証拠金」は、お客様が保有する建玉全体のリスクに応じてSPAN®（スパン）を用いて計算された金額（取引証拠金維持額）以上の額で決定することとされており、当社では、お客様が同一商品に売買何れか片方の建玉しか保有していない場合の1枚あたりの「委託者証拠金」を「取引証拠金維持額」と同額としています。なお、「取引証拠金維持額」の算定基礎となる「プライス・スキャンレンジ(PSR)」及び「納会月割増額」は商品相場の状況等により適時見直しが行われますので、「委託者証拠金」は一定の金額ではありません。
- ② 上記一覧は、お客様が同一商品に売買何れか片方の建玉しか保有していない場合の1枚あたりの「委託者証拠金」であり、同一商品に売建玉と買建玉が同時に存在する場合においては、当該売建玉と買建玉の合計枚数のうち多いほうの枚数（同枚数の場合は、売建玉と買建玉のうちの何れかの枚数）を当該商品の1枚あたりの「取引証拠金維持額」に乗じて得た額が「委託者証拠金」となります。
- ③ 納会月割増額とは、取引の最終期限が近づくことで、現物の需給要因等により他の限月と比較して価格変動が大きくなった場合、当該リスクを担保するために加算されるものです。